

令和 7 年度にしおワクワク体験塾 事業実施報告書



第 6 回体験塾での集合写真

令和 8 年 3 月 3 1 日
にしお未来学校 NFS

① 実施内容

本年度は、抽選により市内 15 の小学校から塾生 30 名を迎えて、「説得力」と「どんな経験も自分で最高にすると決める」という年間テーマのもと、1 人 1 人が社会を自分らしく生きる力を育むために、バラエティに富んだ 7 回の体験塾を実施しました。

塾生たちは、学年も学校も体験塾の経験値も違う 5 名で年度はじめに組まれた合計 6 か国に分かれて、毎回全員で協力しあわないといけないミッションに挑みました。失敗すること、悔しい思いをすることもすべて生きた力を育む大事な体験とみなし、企画チームは口出ししすぎずに見守ることを大切に、ワクワク体験塾ならではの場を作ることを心掛けました。

また昨年度に引き続き今年度も「お弁当ミッション」を導入。お弁当が必要な体験塾には、塾生自ら考えて自分でつくったお弁当を持ってくるように挑戦してもらいました。お弁当のありがたみや調理することの大変さや楽しさを知った子もいました。

本年度は 7 年目となる学生 3 名がより責任を担いながら、5 年目 O B O G 高校 1 年生 3 名、中学 3 年生 2 名、中学 2 年生 7 名、中学 1 年生 3 名が企画運営に携わりました。自分の長所を活かして、企画の作り方と運営に挑戦しました。打ち合わせ、現場下見、レジュメ等の作成から、当日の司会進行と見守りの体験通じて、社会人として活躍していくための練習を通じて成長する姿が見られました。

以下、各体験塾の報告です。

・第 1 回体験塾「貿易ゲーム」

実施日： 令和 7 年 6 月 22 日

実施場所： 一色町公民館カーネーションホール

参加塾生： 30 名 スタッフ： 8 名

内容： 「国で協力してとにかく稼げ！」ミッションの中、自分自身や自分の国について、どんな長所や短所があるのかを知り始める体験をしました。自分の言葉で振り返る、体験塾の肝となる初めての振り返りも行い、いよいよ 1 年の体験塾が始まりました。塾生は 5 名ずつ 6 か国に分かれ、にしワク連邦（青）、ワク笑連邦（水色）、KKKSM 国（赤）、木国人民共和国（緑）、ワクワク D 国（オレンジ）、ハッピーターン王国（黄色）が発足しました。





・第2回体験塾「料理コンテスト」

実施日： 令和7年7月27日

実施場所： 中央ふれあいセンター 調理室

参加塾生： 28名 スタッフ： 8名

内容： 毎年恒例のお買い物付き料理コンテストは、今年も面白い体験になりました。国ごとに予算が渡され、歩いてシャオまで買出しに。国ごとに工夫して買い物をする姿が見られました。調理室に戻ってからは国ごとに指定時間までに協力して調理。普段どれぐらい料理をしているのかがよく見える調理過程は見守っていてドキドキばかりでしたが、国ごとに個性あふれるお昼ごはんが出来上がりました。自分の食べるものを自分でつくる、生きる力を育むという体験塾のミッションをコンプリートすることができました。



・第3回体験塾「ショート動画コンテスト」

実施日： 令和7年8月17日（撮影）24日（編集）

実施場所： 愛知こどもの国（撮影）/にしん文化会館会議室（編集・発表）

協力： NPO 法人チャンネル Daichi

参加塾生 28名/25名 スタッフ 8名/8名 外部講師 2名

内容： 世界中いつでもどこからでも誰でも発信することができる時代の今、必要なスキル、動画制作のコツを指導してもらいながら、愛知こどもの国のよさをPRする動画を、力を合わせてつくってみよう！というミッションに挑みました。熱中症対策を万全にした上で、国ごとに構成を考え、ランドトレインに乗って思い思いに撮影。一週間後に今度は編集アプリを使って、国ごとに思いを伝える動画を完成させました。いい動画

をつくるには、きちんと考えてつくることの大切さを学ぶことができました。



・第4回体験塾「ワクリンピック」

実施日： 令和7年10月13日

実施場所： 横須賀ふれあいセンター 多目的ホール

参加塾生： 25名 スタッフ： 8名

内容： OBOG スタッフがプロデュースのオリジナル種目で競い合うワクリンピックは、今年度も熱く楽しく開催しました。風船バレー、障害物競争、気配切り、フラッグテイルと、それぞれが個性を発揮し活躍できるための仕掛けに、塾生たちは思い切り体を動かし、楽しむことができました。今年度最初のお弁当ミッションも思い思いにクリア。カラフルなお弁当の花が咲きました。



・第5回体験塾「建築体験」

実施日： 令和7年11月9日

実施場所： 高杉建設倉庫

協力： 高杉建設

参加塾生： 28名 スタッフ：11名 外部協力者 2名

内容： 一人ひとつ箱を作って、国でその箱をあわせてひとつの作品にしよう！というミッションに挑みました。のこぎり、金槌、釘、物差し。本物の木材を使って、ゼロから線を引いて制作していく体験。途中、プロの大工さんの技、プロの道具の凄さに目を丸くしながら、悪戦苦闘して作品を完成させていました。厚紙などでつくるのとはわけが違う木材との格闘は、段取り含め、いつもは使わない頭を使って考えることがたくさんあり、思い通りにいかないことばかりでしたが、そんな経験も面白がっていたのが印象にのこる体験になりました。



・第6回体験塾「佐久島で自由体験」

実施日： 令和7年12月14日

実施場所： 佐久島根っこの家

協力： 根っこを育む自然塾

参加塾生 26名 スタッフ： 14名 外部講師 2名 看護師1名

内容： この日だけは国を解体して、自分がしたいことを自分の責任で思い切りやってみる時間を作りました。薪拾い、薪割り、火起こし、竈でのご飯炊き、手打ちうどん、カレー、バームクーヘン、焼き芋、焼きマシュマロと、食べ物祭り。思い思いの外遊びと、自分で決めて行動する自己責任の経験を楽しみました。国の縛りも特定のミッションが無い分、子ども達の個性が一層観察することもできました。ここまで培ってきた自分で考え、自分で行動することが板についてきた様子も確認できました。



・第7回体験塾「貿易ゲームとありがとう会」

実施日： 令和8年1月25日

実施場所： 一色町公民館 カーネーションホール

参加塾生： 27名 スタッフ： 10名

内容： 締めくくりの貿易ゲームは、第1回とは違う仕掛けをいくつか仕込んで実施しました。1年間培ってきた国力を発揮して、6月とは明らかに違う主体性を発揮して、全員が活躍していました。最後のお弁当ミッションでのお昼ごはんの後、1人ずつ自分の1年を振り返り、自分たちの国に与えられる賞を決定し、1人1分ずつの振り返り発表を、保護者を観客に迎えて行いました。一人一人がその子なりの成長を遂げることができた、有意義な1年だったことが感じられるありがとう会でした。



【総括】

地域型キャリア教育プログラムへと、ワクワク体験塾が進化してきて9年。今年度は企画の内容や運営も、より一層OBOGへと託しながら実施することができました。子どもたちの自由を保障しつつ、今年も大きな事故もトラブルもなく、安全に終了できたこともとても良かったです。今年度の塾生の中には、いつもの学校では行き渋り等の何か課題を抱えている子も数名見受けられ、みんなで一緒に体験塾を楽しむためにはどうしたらいいかを考えさせられながらの進行になりました。しかし塾生たちはどんな状況も柔軟に受け入れ、サポートを自分から申し出てくれたり最後まで体験塾を楽しんでくれていました。

本年度も体験塾のすべてのプロセスにおいて、大人から子どもまで、関わるすべての人が自分らしく生きる力、多様な人と協力することの面白さを体験的に学ぶことができました。

【参照】

一年間の活動の塾生と保護者対象のアンケート結果を参考資料として添付しました。また「にしおワクワク体験塾」InstagramやFacebookでも子ども達の様子をご覧いただけます。